

我が家の フラワー

7 セントポーリア

セントポーリアは、イワタバコ科セントポーリア属の常緑多年草で、原産地は、東アフリカのタンザニア北部とケニア南部のごく限られた地域にのみ自生します。そのため、発見されたのも19世紀末と遅かったのですが、発見後の品種改良の成果はめざましく、今では2万近い品種があると言われています。



【管理のポイント】

- ①置き場所：直射日光を避け、窓辺でレースのカーテン越しの日光が当たる所か、1日14時間照明の蛍光灯の直下20～25cmの所に置きます。
- ②温度条件：昼間23℃、夜間18℃程度が最適温度で、冬は最低7℃、開花するには10℃を必要とします。夏はできるだけ涼しくしますが、冷房機の吹き出し冷気は直接当てないようにします。
- ③植え替え：5～6月に鉢から抜き、株の葉を外側から3分の1程度取り除き、根鉢を周囲から半分ほど取り除いて3.5号鉢に植え付けます。鉢土は、酸度調整済のピートモス4割、パーミキュライト2割、5号ビーナスライト4割の混合土とし、植え付けの深さは、鉢の3分の2程とします。
- ④増やし方：葉挿しは、葉柄を3cm程度付けてパーミキュライトに挿します。ストライプ系品種は、わき芽を大きく生長させてから切り取って挿し芽します。
- ⑤病害虫防除：葉が密集し過ぎないようにし、灰色カビ病やホコリダニ類は、薬剤で防除します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状態	開 花											
置き場/日光	レースのカーテン越し 明るい日陰 (冬より日当たりに注意)											
水 や り	少し控えめ			乾いたら						少し控えめ		
肥 料	保温が不足なら不要			毎週施肥								
作 業	葉ざし、さし芽 植え替え						葉ざし、さし芽					

ガーデニング

県園芸総合センター

今出来 光志



8 ダリア

ダリアは、キク科のダリア属に属し、メキシコからグアテマラの高地に分布する球根植物です。17世紀初頭にヨーロッパに紹介されてから育種改良が進められ、400年足らずの間に3万を超える園芸品種がつくり出されました。花色は、青を除くほとんどの色彩を備え、一重、八重、デコラティブ、カクタス、ボンボンなど様々な花形があります。は種から2～3か月で咲く矮性種も花壇などに利用されています。



【管理のポイント】

- ①植 え 付 け：3～5月に、排水と日当たりの良い、風当たりの強くない場所に、深さ30cm、直径30cmの植え穴を掘ります。ここに、腐葉土を両手に山盛り一杯、過燐酸石灰を一握り、緩効性の化成肥料を一つまみ入れて混ぜ、深さ10cm位に球根を植えます。間隔は、1㎡に1球が目安です。
- ②摘心、整芽：草丈が15cmになれば摘心を行い、その後に伸びてきた上部の芽を4～5本残し整芽します。草丈が高くなれば、支柱を立てて誘引します。
- ③温 度 条 件：7月下旬頃になると高温で生育が止まるので、茎を40cm位まで切り戻し、追肥を施し再び秋に開花させます。また、寒さには弱いので、11月に地上部が枯れ始めたら球根を掘り上げ、乾いたオガクズを入れた箱に詰め、冬期5～7℃くらいの乾燥した場所で貯蔵します。
- ④分 球：4月下旬に、1球に1芽を付けて、球根の首を傷めないように切り分けます。
- ⑤病虫害防除：夏のハダニに注意します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
生育状態	休眠中			生育中			開花中			休眠中			
置き場/日光	日当り												
水 や り				鉢植えの場合乾いたら									
肥 料													
作 業	貯蔵			分球、植えつけ			切り戻し			掘り上げ 貯蔵			